

エシカル消費をテーマに取り入れた 「総合的な探究の時間」

徳島県立名西高等学校

事業内容

名西高校では、「総合的な探究の時間」の中で、エシカル消費をテーマの1つとして取り入れて授業を行っている。

エシカル消費をテーマに取り入れた理由

当時の「総合的な学習の時間」の計画担当者が、校内で開催された鎌田安里紗さん（エシカルファッショングランナー）の講演会でエシカル消費について知り、興味を持ったことがきっかけである。講演では、服が劣悪な労働環境の中で大量生産されていることや、大量破棄されている場合もあることなどを知った。その計画担当者は、服の背景について考えさせられるとともに、自分がよく使っているテニスボールはどうなのだろうと疑問を持った。エシカル消費の対象として、鎌田さんが注目したのは服だったが、生徒一人一人の興味ある商品は異なるので探究対象の幅が広く、生徒が主体的に探究していく力を身に付けていくことができ、今後の自分の消費行動にいかすことができるのではないかと考え、エシカル消費をテーマに取り入れた。

1年生の学習内容例

- ・外部講師による「エシカル消費基礎講座」を通し、自分を取り巻く実社会の出来事に積極的に関心を寄せる態度を養う。
- ・「エシカル消費基礎講座」以外のことでのエシカル消費に関する内容について調べ学習を行い視野を広げ、2年生からの探究活動につなげる。

●エシカル消費基礎講座のテーマ（令和元年度）

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. エシカル消費とは | 2. アップサイクル・ゴミ排出 |
| 3. ヘアドネーション・ゴミ排出 | 4. 障がい者支援につながる商品・応援消費 |
| 5. フェアトレード・児童労働・SDGs | 6. 行政機関の取り組み（石井町の取り組み） |
| 7. オーガニック・動物配慮 | 8. オーガニック・地産地消・食品ロス |
| | 9. 貿易ゲーム |

生徒の反応

授業前は、中学校の英語の教科書で「エシカル」という言葉が出てくるため、言葉は知っているが、エシカル消費の意味については知らない生徒が多かった。授業後は、生徒がエシカル消費を意識するようになり、エシカル消費に関するマークが目に入るようになったようで、マークの付いたお菓子を購入したりすることもあるようだ。

エシカル消費についての情報収集・講師派遣依頼

名西高校のある石井町には、月1回エシカル消費について情報交換を行っている「エシカル座談会」がある。その座談会に教員が参加して、エシカル消費について情報を得ている。また、座談会の中でエシカル消費に取り組んでいる方を紹介してもらい、「エシカル消費基礎講座」の講師をしていただけるよう、依頼している。



エシカル消費基礎講座の様子

地域との連携

コロナ禍で、エシカル座談会がオンラインでも開催されるようになり、生徒が参加したことがある。また、エシカル消費基礎講座で講師をしてくださった方が行っている海岸清掃活動にも参加させていただいた。他にも、子ども食堂やフードドライブの活動をされている団体から依頼があり、食品回収ボックスを作成した。授業を進めていく中で、講師の方からエシカル消費に関する情報をいただけるようになり、エシカル消費に関するイベントのチラシなど教室掲示の機会は増えた。学校からではなく、周りの団体から学校を巻き込んでもらえるようになり、地域と連携できて大変ありがたい。また、学校のホームページに活動の様子を掲載しているが、座談会などからは、学校からの情報を更に発信してほしいという要望もある。